Defending Your Faith

信仰を守りなさい

6 August 2023

1. I wanted to be sure.

1. 無駄にならないように

2. Some false believers had infiltrated our ranks.

2. 私たらが持ってる自由を狙って、忍びこんだのです。

3. Whatever they were makes no difference to me.

3. 彼らがどれほどの者であっても、私にとって、問題ありません。

4. By faith in Jesus Christ.

4. イエス•キリストを信じることによって。

5. Christ lives in me.

5. キリストが私のうちに生きておられてるのです。

Questions for Mini-Church: ミニチャーチでの質問 Hope Chapel

Head 1. What does it say? 頭 1. これは何と言っているか？ ホープチャペル

 2. What does it mean? 2. それは何を意味しているか？ Real Solutions

Heart 3. What does it mean to me? 心 3. 私にとってはどんな意味があるか？ for Real People in the Real World

Hands 4. What am I going to do about it? 手 4. それについて何をすべきか？ 　 この世界の人々への確かな答え

Galatians 2:1-21 (NIV) 1. Then after fourteen years, I went up again to Jerusalem, this time with Barnabas. I took Titus along also.

2. I went in response to a revelation and, meeting privately with those esteemed as leaders; I presented to them the gospel that I preach among the Gentiles. I wanted to be sure I was not running and had not been running my race in vain.

3. Yet not even Titus, who was with me, was compelled to be circumcised, even though he was a Greek.

4. This matter arose because some false believers had infiltrated our ranks to spy on the freedom we have in Christ Jesus and to make us slaves.

5. We did not give in to them for a moment, so that the truth of the gospel might be preserved for you.

6. As for those who were held in high esteem—whatever they were makes no difference to me; God does not show favoritism—they added nothing to my message.

7. On the contrary, they recognized that I had been entrusted with the task of preaching the gospel to the uncircumcised, just as Peter had been to the circumcised.

8. For God, who was at work in Peter as an apostle to the circumcised, was also at work in me as an apostle to the Gentiles.

9. James, Cephas and John, those esteemed as pillars, gave me and Barnabas the right hand of fellowship when they recognized the grace given to me. They agreed that we should go to the Gentiles, and they to the circumcised.

10. All they asked was that we should continue to remember the poor, the very thing I had been eager to do all along.

11. When Cephas came to Antioch, I opposed him to his face, because he stood condemned.

12. For before certain men came from James, he used to eat with the Gentiles. But when they arrived, he began to draw back and separate himself from the Gentiles because he was afraid of those who belonged to the circumcision group.

13. The other Jews joined him in his hypocrisy, so that by their hypocrisy even Barnabas was led astray.

14. When I saw that they were not acting in line with the truth of the gospel, I said to Cephas in front of them all, “You are a Jew, yet you live like a Gentile and not like a Jew. How is it, then, that you force Gentiles to follow Jewish customs?

15. “We who are Jews by birth and not sinful Gentiles

16. know that a person is not justified by the works of the law, but by faith in Jesus Christ. So we, too, have put our faith in Christ Jesus that we may be justified by faith in Christ and not by the works of the law, because by the works of the law no one will be justified.

17. “But if, in seeking to be justified in Christ, we Jews find ourselves also among the sinners; doesn’t that mean that Christ promotes sin? Absolutely not!

18. If I rebuild what I destroyed, then I really would be a lawbreaker.

19. “For through the law I died to the law so that I might live for God.

20. I have been crucified with Christ and I no longer live, but Christ lives in me. The life I now live in the body, I live by faith in the Son of God, who loved me and gave himself for me.

21. I do not set aside the grace of God, for if righteousness could be gained through the law, Christ died for nothing

ガラテヤ人への手紙　2:1-21 1. それから十四年たって、私はバルナバと一緒に、テトスも連れて、再びエルサレムに上りました。
2. 私は啓示によって上ったのです。そして、私が今走っていること、また今まで走ってきたことが無駄にならないように、異邦人の間で私が伝えている福音を人々に示しました。おもだった人たちには個人的にそうしました。
3. しかし、私と一緒にいたテトスでさえ、ギリシア人であったのに、割礼を強いられませんでした。
4. 忍び込んだ偽兄弟たちがいたのに、強いられるということはありませんでした。彼らは私たちを奴隷にしようとして、キリスト・イエスにあって私たちが持っている自由を狙って、忍び込んでいたのです。
5. 私たちは、一時も彼らに譲歩したり屈服したりすることはありませんでした。それは、福音の真理があなたがたのもとで保たれるためでした。
6. そして、おもだった人たちからは──彼らがどれほどの者であっても、私にとって問題ではありません。神は人を分け隔てなさいません──そのおもだった人たちは、私に対して何もつけ加えはしませんでした。
7. それどころか、ペテロが割礼を受けている者への福音を委ねられているように、私は割礼を受けていない者への福音を委ねられていることを理解してくれました。
8. ペテロに働きかけて、割礼を受けている者への使徒とされた方が、私にも働きかけて、異邦人への使徒としてくださったからでした。
9. そして、私に与えられたこの恵みを認め、柱として重んじられているヤコブとケファとヨハネが、私とバルナバに、交わりのしるしとして右手を差し出しました。それは、私たちが異邦人のところに行き、彼らが割礼を受けている人々のところに行くためでした。
10. ただ、私たちが貧しい人たちのことを心に留めるようにとのことでしたが、そのことなら私も大いに努めてきました。
11. ところが、ケファがアンティオキアに来たとき、彼に非難すべきことがあったので、私は面と向かって抗議しました。
12. ケファは、ある人たちがヤコブのところから来る前は、異邦人と一緒に食事をしていたのに、その人たちが来ると、割礼派の人々を恐れて異邦人から身を引き、離れて行ったからです。
13. そして、ほかのユダヤ人たちも彼と一緒に本心を偽った行動をとり、バルナバまで、その偽りの行動に引き込まれてしまいました。
14. 彼らが福音の真理に向かってまっすぐに歩んでいないのを見て、私は皆の面前でケファにこう言いました。「あなた自身、ユダヤ人でありながら、ユダヤ人ではなく異邦人のように生活しているのならば、どうして異邦人に、ユダヤ人のように生活することを強いるのですか。」
15. 私たちは、生まれながらのユダヤ人であって、「異邦人のような罪人」ではありません。
16. しかし、人は律法を行うことによってではなく、ただイエス・キリストを信じることによって義と認められると知っ17. て、私たちもキリスト・イエスを信じました。律法を行うことによってではなく、キリストを信じることによって義と認められるためです。というのは、肉なる者はだれも、律法を行うことによっては義と認められないからです。
しかし、もし、私たちがキリストにあって義と認められようとすることで、私たち自身も「罪人」であることになるのなら、キリストは罪に仕える者なのですか。決してそんなことはありません。
18. もし自分が打ち壊したものを再び建てるなら、私は自分が違反者であると証明することになるのです。
19. しかし私は、神に生きるために、律法によって律法に死にました。私はキリストとともに十字架につけられました。
20. もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。今私が肉において生きているいのちは、私を愛し、私のためにご自分を与えてくださった、神の御子に対する信仰によるのです。
21. 私は神の恵みを無にはしません。もし義が律法によって得られるとしたら、それこそ、キリストの死は無意味になってしまいます。"